

1. 単元名 武道(柔道)

2. 指導観

○ 本学級の児童（生徒）は・・・

男子は明るく活発な生徒が多く、体育授業に対しても積極的に参加する。また、1 学期では、振り返りシートを全員提出する事ができて、学習に対する意欲が高く、体育委員がしっかりと声かけができています。生徒間での教え合いはできるが、個人で考え、技能の習得をすることはなかなか難しい生徒がいる。まずは、個人で考える時間を作り、自分の考えをもった中で話し合いの場を設定し、技能の習得がより深まるようにしたい。

○ 本単元では・・・

中学校の学習指導要領では、F「武道」の第1 学年及び2 学年について、武道は武技・武術から発生した我が国固有の文化であり、相手の動きに応じて、基本動作や基本となる技を身に付け、相手を攻撃したり相手の技を防御したりすることによって勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことのできる運動であると示されている。柔道において、技能では相手と直接組み合って、攻防を展開しながら互いに「一本」を目指して勝敗を競い合う楽しさを味わうことのできる運動である。また、態度では相手と直接的に攻防するため、作法や所作を守り、相手を尊重する気持ちを込めて行うことが大切となる。さらに、知識・技能では勝敗を競い合う中でも、技能習得を通して礼法を身に付けるなどの人間形成を重視するといった考え方を理解するとともに、技の名称や技能的ポイントを見付けたり、それを仲間にも説明したりする学習活動を仕組むことができる。よって、本単元を行うことは、仲間と関わり合いながら運動に親しむことができ、生涯にわたる豊かなスポーツライフにつなげるために大変意義深いことである。

○指導に当たっては・・・

柔道は、ほとんどの生徒が中学校に入学して初めて触れる運動である。指導にあたっては、柔道の特性である礼儀作法を身に付けさせ、学校生活をする上で必要なマナーや精神など社会貢献を目指した豊かな心を育てたい。また安全面や技を覚えるにあたり、受け身や基本動作をしっかりと身に付けさせ、合理的に相手を投げたり抑えたりする柔道の楽しさやよさを味わわせることをねらいとする。このような点から、1 年次は受け身を確実に習得させ、固め技の簡易試合を行うこととする。固め技の習得場面においては、ICT 機器（タブレット）を活用し、グループの映像を見返すことや他グループと比較することで、効果的に課題や改善点を発見させ、仲間との話し合う活動を通して、思考力・判断力・表現力を高めていく。

○主体的に・対話的で深い学びの工夫について

整列から W-up までの流れを生徒たちで行わせ、教師は見守る姿勢で行う。個人での課題解決、ペア学習でのスキルアップ向上の教え合い、グルーピングでの受け身と固め技の技能の習得をリーダー中心に考えさせたい。グループで話し合う場面では、個人の考えを共有する時間と説明をまとめる時間を設定し、課題解決に向けて、対話的な活動を通して、誰もが納得できる伝わりやすい表現を練り上げ、学び合いが深まるようにする。

○学習評価の工夫について

学習評価については、単元の技能の習得状況、活動状況(取組姿勢)、話し合い活動の発言、積極的な活動、学習カードで評価する。

「思考・判断・表現」については、授業中の活動状況や課題に即した取組状況、話し合い活動の発言、学習プリント・振り返りシート等の記述内容等を参考にします。

3. 本時においてICTを活用する場面

	活用場面・ICT活用方法・ポイント 期待される生徒の姿	活用場面・ICT活用方法・ポイント 期待される生徒の姿	活用場面・ICT活用方法・ポイント 期待される生徒の姿
1	全体で抑え込みの方法を知る場面,分析する視点を理解する場面 〈タブレット・テレビ〉	タブレットを活用し,テレビに画像を提示しマーキングして説明する。	視覚的にとらえることによってより効果的に理解をすることができる。
2	自グループ全員の抑え込みを撮影する場面 〈タブレット〉	撮影した動画をグループで振り返り,良い点,課題点を視覚的にとらえることで,観察する。	動画を通して,自身や仲間の課題を掴もうと思考し,理解が深まる。気づいたポイントをわかりやすく伝えることができる。
3	生徒が撮影した動画の中から参考になるものを全体に提示をし,ポイントの理解を深める場面〈タブレット・テレビ〉	グループ別で撮影された動画の中より参考になる動画を教師用フォルダーに送信させ,テレビに提示し,共有することでポイントを明確にする。	参考動画を見て自身との比較ができ,グループ内で指摘,思考する中でより明確にポイントを理解することができる。

4. 目標

主体的に取り組む態度	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ること。
思考・判断・表現	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考え方を他者に伝えること。
運動の知識・技能	技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開すること。

5. 指導計画と評価計画 (総時数6時間)

主な学習活動・内容	指導・支援の留意点	評価基準及び評価方法
1, オリエンテーション① (1) 約束(礼法,安全,授業のきまり)の確認をする。 (2) 柔道着の着方,たたみ方の確認をする。 (3) 礼法について理解する。	○柔道の特性や学習の進め方を知らせ学習の見通しを明確にもてるようにする。 ○正しい礼法を理解させるために,礼法の目的,意義について説明する。	【関】柔道に関心をもち,決まりや安全面について確認をしようとしている。 (行動観察) 【知】柔道着の扱い方や礼法を理解することができる。 (行動観察)

<p>2, 受け身の練習②③</p> <p>(1) 横受け身</p> <p>(2) 後ろ受け身</p>	<p>○安全に身を処すために,崩しと関連づけて指導を行う。</p> <p>○安全面に注意して行うために, 頭を守るなどの対処法を説明する。</p>	<p>【技】受け身の基本を身に付けることができる。(行動観察)</p> <p>【知】安全確保の心得などについて理解することができる。(行動観察, 発言分析)</p> <p>【思】教え合う活動を通して, 課題を見つけることができる。(行動観察, 発言分析,) (振り返りシート記入内容)</p> <p>【関】安全に留意して自ら進んで練習に取り組んでいる。(行動観察, 発言分析)</p>
<p>3, 抑え技の基本動作を中心に 行う。④⑤【本時】</p> <p>(1) 袈裟固め</p> <p>(2) 横四方固め</p>	<p>○難易度の低い技から行うことで, 固め技の習得を容易にさせる。</p> <p>○抑え込みの条件を理解させ, グループごとに, 確認しながらポイントに気付かせる。</p> <p>◎タブレットの映像を活用し, 生徒が自ら課題を見つけ, 考え, 互いに教えあえるようにする。</p>	<p>【技】固め技の方法を身に付けることができる。(行動観察)</p> <p>【思】仲間への確かなアドバイスをすることができる。(発言分析)</p> <p>【技】習得した技を生かして, 試合をすることができる。(行動観察)</p> <p>【知】それぞれの受け身の行い方を理解することができる。(行動観察)</p>
<p>4, 固め技の試合・学習の振り返りと評価⑥</p> <p>(1) 背中合わせから抑え技の簡易試合</p> <p>(2) 受け身のテスト</p> <p>・横受け身 (左右)</p> <p>・前回り受け身 (左右)</p> <p>(3) 振り返りシートを記入</p>	<p>○合理的な抑え方を身につけさせることで, 自然と既成技に近くなることを理解させる。</p> <p>○試合に均等性を持たせるために, 体格差, 体力差を十分に考慮して2人1組を組ませる。</p> <p>○実技テストを行うことで, 今まで学習してきたことを再確認させる。</p>	

6. 本時の学習 令和3年 1月19日(水) 第5校時 武道場

(1) 主眼 対人技能(固め技)の基本を把握し、効率よく相手を抑えられるポイントを見つけることができるようにする。

(2) 準備 柔道着 デジタイマー タブレット テレビ ホワイトボード ペン

(3) 展開

主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点 【観点】評価規準(評価方法)
<p>1, 集合・挨拶</p> <p>(1) 4列横隊で集合する。</p> <p>(2) 保健体育委員が出欠, 見学の報告をする。</p> <p>2, 準備運動・補強運動・受け身の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで準備運動を行う。 ・補強運動①(腹筋・背筋・腕立て伏せ・ジャンプ) ・補強運動②(前転・後転・うつ伏せ前進・えび) 	<p>○正座の礼法をしっかりとさせる。</p> <p>○安全に留意するために健康状態を観察する。</p> <p>○見学者の指導を行い, 授業に参加できる活動を伝える。</p> <p>○準備運動のポイントを押さえて行えるように指導する。</p> <p>○各種の受け身を正確に行うことができるように, 受け身のポイントを確認する。</p>
<p>抑え込みの条件を理解し, 相手から逃げられない抑え込みを見つけよう</p>	
<p>3, 抑え込みの条件の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①相手を大体おおむけにする。</p> <p>②相手の上で向かい合った形になっている。</p> <p>③足や胴を絡ませない。</p> <p>※うつ伏せの相手を上から抑えても, 抑え込みにならない。</p> </div>	<p>※抑え込みの条件を提示する。</p>
<p>4, 抑え込みの実践</p> <p>ICTを活用し, 撮影した動画をグループで確認し, 相手から逃げられない抑え込みを見つける。</p> <p>撮影した動画で参考になるグループの動画を全体に提示し, 理解を深める。</p> <p>5, 集合・整列</p> <p>本時のまとめを行う</p>	<p>○抑え方について, 技の習得を促したり, 課題や改善点に気づくことができるようにさせる。</p> <p>○生徒が提示した視点に注目し, グループ内で課題を見つけ, 思考し, 互いに教えあえるようにする。自グループの動画と比較することで, より明確にポイントを理解することができるようにする。</p> <p>【思】 効率よく抑え込むポイントを見つけることができる。(発言分析, 振り返りカード)</p> <p>○周囲を確認し, 安全に気を付けるようにさせる。</p>

ご指導よろしくお願いたします。